



**JR東労組本部申20号
「2020年度夏季手当等に関する申し入れ」 妥結！**

2.4ヶ月 + ¥5,000
グリーンスタッフ契約満了時の精勤手当に+5,000円

※会社回答書から抜粋

◇2.4カ月分のうち、0.1カ月は感染症への緊張・不安の中で社会的使命を果たし続けていることを大いに受け止めるとともに、社会の大きな変化への対応に向け「変革2027」の実現に一層奮起して取り組むことを強く期待して、支給します。

◇5,000円分は、感染症拡大防止に取り組む中で、新たなワークスタイル・ライフスタイルに挑戦してきたことを踏まえ、支給します。

◆支給日	6月29日（月）以降、準備でき次第
◆平均社員数	51,200人（対前年△1,600人）
◆平均年齢	39.8歳（対前年△0.8歳）
◆平均支給額	812,700円（対前年△171,300円）
◆平均基準内賃金	336,535円（対前年△1,663円）

**今回の結果を
全組合員で議論して
職場活動を強化しよう！**

昨日、本部申20号「2020年度夏季手当等に関する申し入れ」について妥結に至りました。この間、職場の組合員の皆さんの声を基礎に、JR東労組本部交渉団は誠心誠意、本社との議論を積み重ねてきました。改めて組合員の皆さんとご家族の皆さんのこの間の奮闘に敬意を表します。

要求からかけ離れた会社回答を受けてその場では妥結せず、全地本委員長会議を開催して議論しました。先延ばしにしても大きな成果を得られない現状と、組合員の生活に大きな影響を及ぼす事態が考えられることから、組合員の皆さんの生活を第一に考え、今回の妥結に至っています。

今期の夏季手当等交渉は新型コロナウイルスや昨年の台風19号の被災など多くの課題が山積していました。また、今後も見えない敵とのたたかいが続きます。2019年度決算は単体・連結ともに「減収減益」であったものの、単体では1,590億円の純利益を確保していますが、営業利益は前年比25%減となるなど厳しい状況に立たされています。しかし、職場ではコロナウイルス対策にこれまでにない対応を迫られ、手探りの中でも駅窓口や列車内で感染拡大防止策をはじめ、職場でのクラスター発生を防ぎ、定期列車の運休を出不さずに公共交通機関の使命を全うしてきました。これまでの組合員の皆さんの労苦に報いる評価をすべきだと主張し、今後の社会的動向、「変革2027」の施策を更に担っていくこと、生活面での経済的負担など、多くの事柄に対して積極的に交渉を積み、今回の妥結に至っています。

今後も先の見えない厳しい社会環境に立ち向かわなければなりません。組合員の皆さんとの議論を更につくり出し、組織拡大へ向けて組織強化を継続して取り組んでいきましょう！

**更なる組織強化へ向けて職場で議論を積み重ね
組織拡大を今こそ推し進めよう！**